未永くご使用いただくためのお願い

故障の原因になりますので、下記の注意をお守りください。

- 人間の検温以外には使用しないでください。
- 本体や収納ケースに強いショックを与えたり、落としたり、踏んだり、振動を与えたりしないでください。
- 水気が付いたままでケース内に収納しないでください。必ず、乾いた布でふき取ってください。

使い終わったら

体温計は、いつも清潔にお手入れしてください。

- 本体の汚れは、乾いたやわらかい布で拭き取ってください。
- 汚れがひどいときは、水または中性洗剤をしみ込ませた布をかたく絞って拭き取った後、やわらかい布でから拭きしてください。
- アルコールを使って汚れを拭き取る場合、表示部にかからないようにしてください。
- 下記の事を守ってください。故障の原因になります。
  - 汚れを落とすときは、ベンジン、シンナーなどを使用しないでください。
  - 本体は、防水ではありません。本体内部に、水などが入らないように注意してください。
  - 体温計の感温部を、アルコールに浸したり、熱湯（50℃を超える湯）で消毒しないでください。
  - 超音波洗浄をしないでください。

体温計は、付属の収納ケースに入れて保管してください。

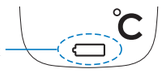
- 下記のようなところには保管しないでください。故障の原因になります。
  - 水のかかる所。
  - 高温多湿の所、直射日光があたる所、暖房器具のそば、ホコリの多い所、塩分などを含んだ空気の影響を受ける所。
  - 傾斜、振動、衝撃のある所。
  - 化学薬品の保管場所や腐食性ガスの発生する所。

電池の交換のしかた

使用電池：リチウム電池CR2016（市販品）

電池交換表示

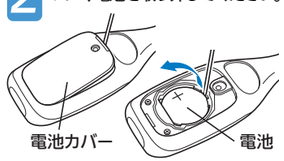
検温準備完了後（「℃」点滅）、右図の表示が出たら、電池を交換してください。



交換のしかた

1 本体裏面の電池カバーのネジを、小型ドライバーで外してください。

2 細くて折れにくい棒で、電池カバー、電池を取り外してください。



※電池は飛び出すことがありますので、注意してください。

3 電池を（＋を上にして）、図のように入れてください。

4 電池カバーを元通りに取り付けて、ネジで固定してください。

お願い

- お買い求めのときは、本体にお試し用電池が内蔵されています。お試し用電池は、電池寿命の回数以内に切れることがありますので、ご了承ください。
- 使用済み電池・本体の廃棄方法は、お住まいの市区町村の指導に従ってください。

仕様

医療機器認証番号	219AGBZX00043000
類別	機械器具16体温計
一般的名称	電子体温計
医療機器分類	管理医療機器
販売名	オムロン電子体温計 MC-672L
電源電圧	DC 3.0V（リチウム電池CR2016×1個）
電池寿命	約1100回（予測測定）約150回（実測測定）
感温部	サーミスタ
測定方式	予測・実測
体温表示	4桁＋℃表示、0.01℃毎
測定精度	±0.05℃（35.00～38.00℃）、±0.1℃（32.00～34.99℃および38.01～42.00℃）※標準室温23℃にて恒温水槽で実測測定した場合
測定範囲	32.00～42.00℃
使用環境温湿度	周囲温度：＋10～＋40℃、相対湿度：30～85%RH
保管環境温湿度	周囲温度：−20～＋60℃、相対湿度：10～95%RH
本体質量	約27g（電池含む）
外形寸法	幅34×長さ125.2×厚さ15mm
付属品	●お試し用電池（リチウム電池CR2016×1個）●収納ケース ●基礎体温表 ●プローブリング（3個）●取扱説明書（品質保証書付き）●医療機器添付文書

EMC適合　本製品はEMC規格　IEC 60601-1-2:2001 に適合しています。

オムロン健康商品・修理・別売品・消耗品に関するお問い合わせは

オムロン
お客様サービスセンター
ダイヤルは正確に

電話 0120-30-6606（むろんオムロン）通話料無料
FAX 0120-10-1625 通信料無料

受付時間　9:00~19:00 月～金（祝日を除く）
都合によりお休みをいただいたり、受付時間帯を変更させていただくことがありますのでご了承ください。

ホームページ　http://www.healthcare.omron.co.jp/
※通信料はお客様ご負担となります。（別売品・消耗品は、インターネットでもお求めいただけます。）

製造販売元　オムロン ヘルスケア株式会社
〒617-0002 京都府向日市寺戸町九ノ坪53番地

保証規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書にしたがった正常な使用状態で、お買い上げ後1年以内に故障した場合には、無償修理または交換いたします。
2. 無償保証期間内に故障して修理を受ける場合は、オムロンお客様サービスセンターにご連絡ください。
3. 無償保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
   （イ）使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
   （ロ）お買い上げ後の落下などによる故障および損傷。
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や電源の異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷。
   （ニ）本書の提示がない場合。
   （ホ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
   （ヘ）消耗部品。
   （ト）故障の原因が本商品以外に起因する場合。
   （チ）その他取扱説明書（本書）に記載されていない使用方法による故障および損傷。
4. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
5. この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償保証をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
6. 補修用部品は製造打ち切り後、最低6年間保有しています。

品質保証書

このたびは、オムロン商品をお買い求めいただきありがとうございました。商品は厳重な検査を行ない高品質を確保しております。しかし通常のご使用において万一、不具合が発生しましたときは、保証規定によりお買い上げ後、一年間は無償修理または交換いたします。
※商品の保証は、日本国内での使用の場合に限ります。
This warranty is valid only in Japan.

販売名	オムロン電子体温計 MC-672L
ご芳名	
ご住所	
TEL	（　　）

※以下につきましては、必ず販売店にて、記入捺印していただいてください。

お買い上げ店名	㊞
住　所	
	TEL
お買い上げ年月日	年　月　日

製造販売元　オムロン ヘルスケア株式会社
〒617-0002 京都府向日市寺戸町九ノ坪53番地

OMRON

取扱説明書 品質保証書付き

オムロン電子体温計 口中専用

MC-672L

医療機器認証番号：219AGBZX00043000

けんおんくん

- このたびは、オムロン商品をお買い上げいただきましてありがとうございました。
- 安全に正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
- 本書は、いつもお手元においてご使用ください。
- 本書は品質保証書を兼ねています。紛失しないように保管してください。

A Good Sense of Health

誤操作を防ぐ長押し電源オフ

約2秒間の長押しで電源がオフするから、検温中に誤って電源を切ってしまうことを防ぎます。

下2桁拡大表示

読み取りやすくするため基礎体温に重要な下2桁を大きくしました。

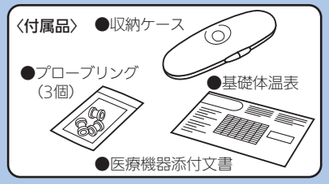
〈別売品〉

プローブリングのお求めはオムロンお客様サービスセンターまでお問い合わせください。

ずれにくいフラットセンサ

大きく平らな感温部が舌下にしっかりフィットするので検温中のずれを防ぎます。

〈付属品〉



30秒検温のしくみ（なぜ早く測れるの？）

■体温とは…

体温とは体深部の温度のことです。この体深部の温度を舌下で知るためには温度変化のなくなった体温（平衡温）を測る必要があります。

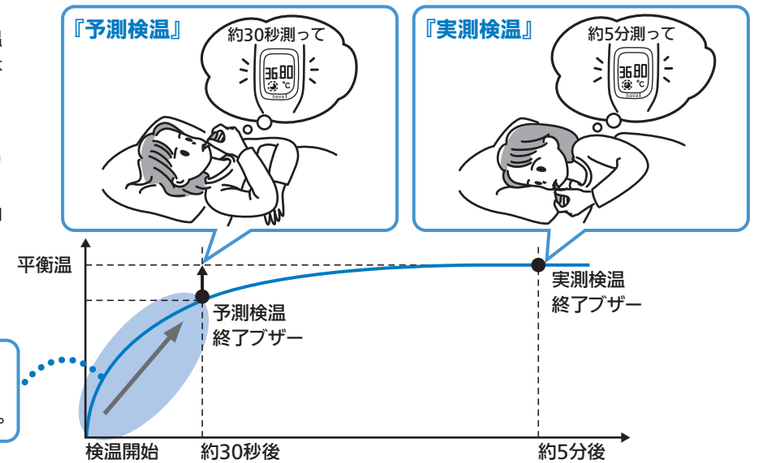
■平衡温を測る

一般的に舌下で平衡温を測るには約5分間かかります。

オムロンは、新開発の高速センサーと高性能マイコン、また独自の予測演算式（アルゴリズム）により、約30秒間で5分後の平衡温を予測します。

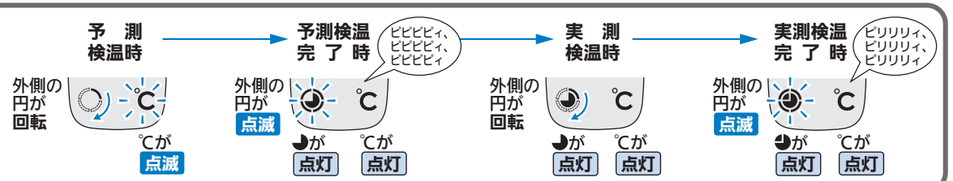
※より正確な測定には、実測検温をおすすめします。

温度上昇の様々なパターンをリアルタイムに解析するので、正確な体温を予測することができます。



覚えてください（検温表示）

予測検温時、実測検温時で検温マークの表示が違います。



実際の測りかたは、開いて内面を見てください

1647434-1D

安全上のご注意

お使いになる前に、必ずお読みください。
ここに示した警告サインと図記号の例は、商品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や、他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。(表示と意味は次のようになっています。)

■警告サインの内容について

⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害*の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットに関わる拡大損害を示します。

■図記号の例

●記号は強制(必ず守ること) | ⃠記号は禁止(してはいけないこと) | △記号は注意(警告・危険を含む)

⚠警告

- 必ずすること: **検温結果の自己診断や治療は危険です。医師の指導に従ってください。**
  自己診断は、病気が悪化する原因になります。
- 禁止: **本商品は口中専用の体温計です。口中以外(わきや耳など)で検温しないでください。**
  正しい検温ができません。耳などを傷つける原因になります。
- 必ずすること: **乳幼児の手の届かないところに保管してください。また、お子様だけでのご使用はさけてください。**
  自分で無理に測ろうとしてけがをする原因になります。
- 禁止: **本体が水などでぬれた状態で測定しないでください。**
  正しい検温ができません。

⚠注意

- 禁止: **本体は、防水ではありません。本体内部に、水などが入らないようにしてください。**
  検温値に誤差が生じたり、故障の原因になります。
- 必ずすること: **プローブリングは、かみきらないようにしてください。**
  万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- 必ずすること: **本体を噛まないでください。**
  事故や故障の原因になります。
- 分解禁止: **分解や修理、改造をしないでください。**
  検温値に誤差が生じたり、故障の原因になります。
- 必ずすること: **電池・ネジ・プローブリングは、乳幼児の手の届かないところに置いてください。**
  乳幼児が飲み込む原因になります。
  万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- 必ずすること: **万一、電池の液が目に入ったときは、すぐに多量のきれいな水で洗い流してください。**
  失明など、障害の原因になります。必ず、医師の治療を受けてください。
- 必ずすること: **万一、電池の液が皮膚や衣服に付着した場合は、すぐに多量のきれいな水で洗い流してください。**
  けがなどの原因になります。
- 破裂注意: **電池を火の中に投げ込まないでください。**
  電池が破裂する原因になります。
- 必ずすること: **電池は、⊕⊖を間違えないように交換してください。**
  漏液、発熱、破裂などを起こし、本体が破損する原因になります。
- 禁止: **強い静電気や電磁波のある場所で使用しないでください。**
  検温値に誤差が生じたり、故障の原因になります。
- 必ずすること: **複数の人で併用しないでください。**
  病原菌の感染する原因になります。

正しく測るために

正しい方法で体温を測らなかった場合、
必ずしも測定精度が保証されない可能性があります。

基礎体温を測るポイント

●目が覚めてから、すぐ床の中で測る。
飲食しない。起きあがらない。

●毎朝、できる限り同じ時刻に測る。

●感温部を舌下のつけ根にあて、舌で押さえ口を閉じたままで測る。
(下記「正しい体温計のあてかた」参照)

●口中でも場所によって温度が異なるため、毎朝、感温部を同じポイントにあてて測る。
(下記「正しい体温計のあてかた」参照)

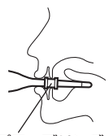
●検温中は、口で呼吸しない。

■検温後、基礎体温表に記入する
記入前に体温計の電源を切って、検温値を忘れたときは、再度電源を入れると、前回検温値が表示されます。(右記「体温の測りかた」の 1 参照)

正しい体温計のあてかた

●プローブリングを本体に取りつける

体温計を安定させるために、プローブリングの使用をおすすめします。
※プローブリングは消耗部品です。変形したり、安定しなくなってきたら交換時期です。別売品のお求めはオムロンお客様サービスセンターまでお問い合わせください。プローブリング



●舌下のつけ根の左右どちらかにあてる

あてるポイント

●舌で押さえて口を閉じる

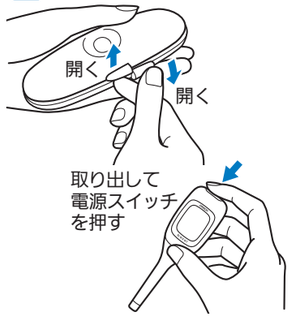
※歯や唇で支えやすい位置にプローブリングを合わせてください。

体温計の向き

●体温計がずれないように手で支える

体温の測りかた(検温)

1 体温計を収納ケースから取り出し、電源を入れる。



表示部が全点灯

前回測った体温が表示される(前回値表示)
前回値であることを示すマーク

◕:前回予測検温値
◕:前回実測検温値

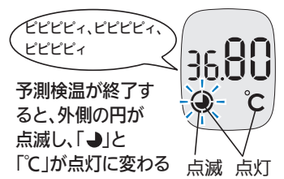
2 「℃」が点滅したら、感温部を舌下のつけ根にあて、口を閉じる。

舌で押さえる

「℃」が点滅すれば検温準備完了

予測検温が開始すると、検温マークの外側の円が回り、「℃」が点滅

3 約30秒後に「ピピピピィ」とブザーが3回鳴ると、予測検温完了。
検温結果を確認してください。



予測検温が終了すると、外側の円が点滅し、「◕」と「℃」が点灯に変わる

4 電源を切って、収納ケースに入れてください。

電源スイッチを2秒間押す
「ピッ」と音がして、電源が切れる

お願い 電源を切らないと、続けて実測検温が始まります。そのまま放置しても、オートパワーオフ機能により、約3分後に電源が切れます。

実測検温をする場合

口を閉じ舌で押さえ続けていると、3の予測検温完了約30秒後に自動的に実測検温が始まります。
約5分後に「ピリリリィ」とブザーが3回鳴ると実測検温が完了しますので、検温結果を確認、電源を切って、収納ケースに入れてください。

故障かな?と思ったら…

■検温値が高い。

ここを確認する	処置のしかた
飲食したり、起きあがってしまった。	起床直後、何もしない状態で測ってください。
暖かい部屋から体温計を持ってきて、すぐに測定していませんか。	体温計の内部に、室温より暖かい空気が残っている場合は、正しく測定できない場合があります。最低3分間、放置してから電源を入れてください。

※検温結果が42℃以上の場合は、「H」表示となります。

■検温値が低い。

ここを確認する	処置のしかた
口中が冷えていませんか。	3分程度口を閉じ、再度検温してください。
連続して検温していませんか。	一度電源をお切りいただき、30秒以上間隔をあけてから、再度検温してください。

※検温結果が32℃未満の場合は、「L」表示となります。

■検温値がばらつく。

ここを確認する	処置のしかた
下記のように測っていませんか。 • 体温計が動いて、感温部がずれた。 • 感温部をあてるポイントが測るごとに違う。 • 検温中に口を開けた。	「正しく測るために」の「基礎体温を測るポイント」、「正しい体温計のあてかた」を確認してください。

■検温準備完了時に「L」表示が出ない。

感温部の温度が32℃未満のときに「L」表示します。
32℃以上の場合は実際の温度を表示します。

ここを確認する	処置のしかた
連続して検温していませんか。	一度電源をお切りいただき、30秒以上間隔をあけてから、再度検温してください。

【ご注意】
外気温(周囲環境温度)が32℃を越えると、感温部が温まり、温度を表示する場合があります。この場合は、そのまま検温してください。
また、電源を入れてから10秒以上時間が経過すると自動的に予測検温を開始することがあります。この場合は、再度電源を入れなおした後、検温準備完了の画面を確認しだい検温を開始してください。

■電源スイッチを押しても表示部に何も表示しない。

ここを確認する	処置のしかた
電池の⊕⊖の向きが間違っていませんか。	電池を正しく入れ直してください。
• 電池が消耗していませんか。 • 表示部に「▭」が表示されていませんか。	新しい電池(CR2016)と交換してください。

検温値以外の表示(エラー表示)

表示	エラー表示の原因	処置のしかた
Er.1	本体が故障している可能性がある。	オムロンお客様サービスセンターまでお問い合わせください。
AH	体温計が約40℃を超えるところに保管してあった。	10℃～40℃の部屋に最低3分間は置いてから、検温してください。
AL	体温計が約10℃未満のところに保管してあった。	10℃～40℃の部屋に最低1分間は置いてから、検温してください。